わが家のアイドル

斎藤　璃莉ちゃん
「ママ、お腹空いたなぁ～!」
（近戸町）

島田　結乃ちゃん
「いつも元気いっぱい♪」
（中村町）

富沢　浬士くん
「お歌とダンスと食べるの大好き♡」
（黒谷）

峯川　承助くん
「さっちゃんわんこだーいすき♡」
（大野原）

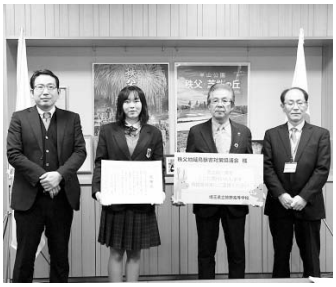
１～１歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名（ふりがな）・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。（メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで）抽選に漏れた方も、２歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

（皆野高等学校）

「秩父地域鳥獣害対策協議会から感謝状」



本校の生徒たちが開発・販売を行った「イノシカバーガー」や「鹿皮クラフト体験」の売上金の一部を、鳥獣害対策に役立ててほしいと、秩父地域鳥獣害対策協議会に寄付しました。

協議会会長から「新しいアイデアで努力した成果を有効に使わせてもらいます。」とお礼をいただき、本校生徒は「新たな商品開発に取り組んでいきたい。」と抱負を語りました。

「第54回卒業証書授与式」

３月10日、皆野高校「第54回卒業証書授与式」が厳かに挙行されました。新型コロナウイルス感染症対策により規模の縮小を余儀なくされましたが、保護者の皆さまおよび在校生・教職員で、卒業生を祝うことができました。

35人の卒業生は、しっかり前を向いて担任の先生から呼名を受け、一人一人卒業証書を授与されました。

皆野高校の３年間でのさまざまなことへの挑戦と経験を自信として、これからの新しいスタートを踏み出してください。

市民文芸

俳句

須田　真弓　選

梅一輪戸毎に匂ふ通学路　中村町　髙野　恭幸

枝打ちし空の広がる藪柑子　上町　濵田　秀典

保線士の叩く鉄路や深雪晴　黒谷　榎本　久

踏む土の五感を覚ます四温晴　下吉田　江原　慶枝

編み針を動かす指や春そこに　三峰　千島サマ井

太陽と水は尊し風信子　中村町　山中　知

終えし今ワクチン三度梅白き　阿保町　吉田　泰子

納税期古きそろばん出してみる　中町　内田　定男

蕗の薹思ひ思ひに陽を求め　上町　濵田　愛子

蠟梅の香に誘われて宝登の山　野坂町　浅見　和子

（評）髙野さんの句、家毎の微かな春の訪れを子供たちに告げる。濵田さん、日陰に咲く藪柑子の喜びの声が聞えてきそうだ。榎本さん、雪晴れの眩い光の中で鉄路を確認する姿を捉える。江原さん、三寒四温を繰り返しながら春になる様子を「五感を覚ます」で表現。千島さんの句、「春そこに」に臨場感がある。山中さん、「太陽と水は尊し」は言葉にするとなるほどであり、風信子のみずみずしさを表現。吉田さん、終ってみたら三度の接種、「梅白し」で静かな時の中にいる。内田さん、歳時記に掲載されない場合もあるが、納税期は春の季語。古きそろばんに時代が蘇る。濵田愛子さん、蕗の薹のあちこち向いて咲く様子を表現。浅見さん、まさに「誘われて」登った方も多いだろう。

※次回5月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前（ふりがな）を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。１通に２句または２首まで、各１通までです。

俳句　４月末締切→６月号に掲載
短歌　５月末締切→７月号に掲載

わが家のアイドル・市民文芸への応募は、市役所秘書広報課（〒368-8686　熊木町８－15）へ
なお、掲載した内容は、市HPでも公開します。